

2020年度第2四半期決算の概要及び 2020年度業績予想の概要

三井化学株式会社

2020年11月11日

本資料の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した予想であり、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、実際の業績は今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

目次

1. 2020年度第2四半期決算の概要	
1) 2020年度第2四半期 事業概況及びトピックス	…1
2) 決算の概要	…2、3
3) セグメント別 売上収益・コア営業利益の内訳（増減分析 対前年決算）	…4
4) 非経常項目の内訳	…5
5) 財政状態計算書	…6
6) キャッシュ・フロー計算書	…7
2. 2020年度業績予想の概要	
1) 2020年度第3四半期以降のトピックス	…8
2) 業績予想の概要	…9
3) セグメント別 売上収益・コア営業利益の予想（対前年決算）	…10
4) セグメント別 コア営業利益の予想（20年度上下増減）	…11
5) キャッシュ・フロー計算書	…12
6) 連結経営データ	…13
3. 補助資料	…14~23

1. 2020年度第2四半期決算の概要

1) 2020年度第2四半期 事業概況及びトピックス

<事業概況>

- ◆**モビリティ**：エラストマー、機能性コンパウンド、海外ポリプロピレン・コンパウンド及びソリューション事業は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて、グローバルな自動車生産台数の落ち込みに伴い、販売が減少した。機能性ポリマーは、ICT関連需要に的確に対応し、販売は堅調に推移した。
- ◆**ヘルスケア**：ビジョンケア材料及び歯科材料は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて、販売が減少した。不織布は、おむつ、マスク及び医療用ガウン向けの販売が堅調に推移した。
- ◆**フード&パッケージング**：コーティング・機能材は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて、販売が減少した。機能性フィルム・シートは、産業用フィルム分野の販売が堅調に推移した。農薬は、海外での販売が堅調に推移した。
- ◆**基盤素材**：ナフサクラッカーの稼働は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響に起因する川下製品の需要減少の影響を受け低下した。ポリプロピレンは、主に自動車用途で需要の鈍化の影響を受けた。アセトンの海外市況は、消毒用途の川下製品の需要増加により、前年を上回る水準で推移した。

<第2四半期のトピックス>

- ・PPコンパウンド タイ拠点 生産能力増強（20年9月営業運転開始、+1.3万トン/年）
- ・新規殺虫剤プロフレア®SCの日本における農薬登録取得（20年9月 有効成分 テネベナール®）

2) 決算の概要

(単位：億円)

摘 要	19年度 4-9月決算	20年度 4-9月決算	増減	増減率
売上収益	6,787	5,370	△ 1,417	△21%
コア営業利益	397	186	△ 211	△53%
(うち、持分法による投資損益)	35	△ 2	△ 37	-
非経常項目	△ 28	△ 7	21	-
営業利益	369	179	△ 190	△51%
金融収益・費用	△ 13	△ 22	△ 9	-
税引前 四半期利益	356	157	△ 199	△56%
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	204	96	△ 108	△53%
為替レート(円/US\$)	109	107	△ 2	
国産ナフサ(円/KL)	42,800	27,600	△ 15,200	
中間配当	50円/株	50円/株	+0円/株	-

2) 決算の概要

(単位：億円)

摘 要	20年3月末	20年9月末	増減	増減率
有利子負債	5,994	6,065	71	1%
Net 有利子負債	4,277	3,702	△ 575	△13%
親会社の所有者に帰属する持分	5,292	5,483	191	4%
Net D / E レシオ (倍)	0.81	0.68	△ 0.13	-
親会社所有者帰属持分比率 (%)	34.6	36.3	1.7	-

(単位：社)

摘 要	20年3月末	20年9月末	増減
連結対象会社数			
連結子会社	125	121	△ 4
共同支配事業 (JO*)	4	4	-
持分法適用会社	27	27	0
連結対象会社計	156	152	△ 4

*ジョイント・オペレーション

3) セグメント別 売上収益・コア営業利益の内訳 (増減分析 対前年決算)

(単位：億円)

セグメント	売上収益			コア営業利益			増減内訳		
	19年度 4-9月決算	20年度 4-9月決算	増減	19年度 4-9月決算	20年度 4-9月決算	増減	数量差	交易条件	固定費他
モビリティ	1,874	1,320	△ 554	225	82	△ 143	△ 123	△ 17	△ 3
ヘルスケア	698	660	△ 38	59	72	13	△ 24	4	33
フード & パッケージング	966	896	△ 70	78	95	17	△ 7	14	10
基盤素材	3,160	2,426	△ 734	69	△ 46	△ 115	△ 53	△ 21	△ 41
その他	89	68	△ 21	△ 34	△ 17	17	-	-	17
合計	6,787	5,370	△ 1,417	397	186	△ 211	△ 207	△ 20	16
成長3領域*	3,538	2,876	△ 662	362	249	△ 113			

*モビリティ、ヘルスケア、フード&パッケージング

4) 非経常項目の内訳

(単位：億円)

摘 要	19年度 4-9月決算	20年度 4-9月決算	増減
固定資産処分・売却損	0	△ 5	△ 5
減 損 損 失	△ 7	△ 0	7
関 連 事 業 損 失	△ 6	△ 0	6
そ の 他	△ 15	△ 2	13
非経常項目 合計	△ 28	△ 7	21

5) 財政状態計算書

(単位：億円)

摘要	20年3月末	20年9月末	増減	摘要	20年3月末	20年9月末	増減
流動資産	(7,818)	(7,561)	(△ 257)	負債	(9,208)	(8,938)	(△ 270)
現金及び 現金同等物	1,646	2,296	650	営業債務	1,210	999	△ 211
営業債権	2,739	2,270	△ 469	有利子負債	5,994	6,065	71
棚卸資産	2,843	2,577	△ 266	その他	2,004	1,874	△ 130
その他	590	418	△ 172				
非流動資産	(7,487)	(7,544)	(57)	資本	(6,097)	(6,167)	(70)
有形固定資産及び 使用権資産	4,997	4,982	△ 15	親会社の所有者に 帰属する持分	5,292	5,483	191
のれん及び 無形資産	262	256	△ 6	非支配持分	805	684	△ 121
非流動の その他の資産	2,228	2,306	78				
合計	15,305	15,105	△ 200	合計	15,305	15,105	△ 200

6) キャッシュ・フロー計算書

(単位：億円)

摘 要	19年度 4-9月決算	20年度 4-9月決算	増減
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー (A)	904	1,111	207
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー (B)	△ 531	△ 394	137
フリーキャッシュ・フロー (A + B)	373	717	344
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 174	△ 57	117
IV. その他	△ 17	△ 10	7
現預金等増減	182	650	468

2. 2020年度業績予想の概要

1) 2020年度第3四半期以降のトピックス

<トピックス(予定)>

- ・マスク用ノーズクランプ「テクノロート®」の増強について(20年10月完工 +1ライン)
- ・大阪工場におけるガスタービン新設 (20年11月営業運転開始、30MW)
- ・市原工場における高純度プロピレン増強 (20年12月営業運転開始)
- ・高機能エラストマー「タフマー®」生産能力増強 (20年第3四半期以降完工、+2.5万トン/年)
- ・中国におけるガラス長繊維強化ポリプロピレン生産設備新設 (20年度第4四半期営業運転開始、3,500トン/年)
- ・EUVペリカル生産設備新設 (20年度第4四半期完工、21年度第2四半期営業運転開始)

2) 業績予想の概要

*1 IFRSに基づく19年度決算値は20年度業績予想との比較を目的に作成したものであり、監査証明を受けたものではありません。 (単位：億円)

摘 要	19年度決算 *1 (IFRS) (a)		20年度予想 (IFRS) (b)		増減 (b)-(a)		20年度前回予想 (20.8.13発表)	
	4-9月	年度	4-9月	年度	年度	%	4-9月	年度
売上収益	6,787	13,495	5,370	11,750	△ 1,745	△13%	5,400	11,700
コア営業利益	397	723	186	500	△ 223	△31%	50	400
非経常項目	△ 28	△ 77	△ 7	20	97	—	10	20
営業利益	369	646	179	520	△ 126	△20%	60	420
金融収益・費用	△ 13	△ 38	△ 22	△ 50	△ 12	—	△ 10	△ 30
税引前利益	356	608	157	470	△ 138	△23%	50	390
親会社の所有者に 帰属する当期利益	204	340	96	330	△ 10	△3%	10	270
為替レート(円/US\$)	109	109	107	106	△ 3		108	108
国産ナフサ(円/KL)	42,800	42,900	27,600	29,800	△ 13,100		27,500	28,750
配 当	中間	期末	中間	期末	中間増減	期末増減	中間	期末
	50 円/株	50 円/株	50 円/株	50 円/株	+0円/株	+0円/株	50 円/株	50 円/株
通期 100 円/株		通期 100 円/株		+0円/株		通期 100 円/株		

3) セグメント別 売上収益・コア営業利益の予想 (対前年決算)

*1 IFRSに基づく19年度決算値は20年度業績予想との比較を目的に作成したものであり、監査証明を受けたものではありません。 (単位：億円)

セグメント	売上収益 (IFRS)					コア営業利益 (IFRS)				
	19年度決算 *1		20年度予想		増減 (b) - (a)	19年度決算 *1		20年度予想		増減 (d) - (c)
	4-9月	年度 (a)	4-9月	年度 (b)		4-9月	年度 (c)	4-9月	年度 (d)	
モビリティ	1,874	3,679	1,320	3,000	△ 679	225	431	82	240	△ 191
ヘルスケア	698	1,432	660	1,400	△ 32	59	132	72	160	28
フード & パッケージング	966	2,013	896	1,950	△ 63	78	170	95	185	15
基盤素材	3,160	6,195	2,426	5,250	△ 945	69	94	△ 46	△ 30	△ 124
その他	89	176	68	150	△ 26	△ 34	△ 104	△ 17	△ 55	49
合計	6,787	13,495	5,370	11,750	△ 1,745	397	723	186	500	△ 223
成長3領域 *2	3,538	7,124	2,876	6,350	△ 774	362	733	249	585	△ 148

*2 モビリティ、ヘルスケア、フード&パッケージング

4) セグメント別 コア営業利益の予想 (20年度上下増減)

(単位：億円)

セグメント	20年度コア営業利益			主要増減内訳
	上期 (4-9月)	下期(予想) (10-3月)	増減	
モビリティ	82	158	76	販売数量(+)、交易条件(-)、固定費(-)等
ヘルスケア	72	88	16	販売数量(+)等
フード & パッケージング	95	90	△ 5	販売数量(+)、交易条件(-)、固定費(-)等
基盤素材	△ 46	16	62	販売数量(+)、在庫(+)、交易条件(-)等
その他	△ 17	△ 38	△ 21	
合計	186	314	128	
成長3領域	249	336	87	

5) キャッシュ・フロー計算書

(単位：億円)

摘要	19年度決算 (IFRS)		20年度予想 (IFRS)		増減 (b)-(a)	20年度(IFRS) 前回予想 (20.8.13発表)	
	4-9月	年度(a)	4-9月	年度(b)		4-9月	年度
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー (A)	904	1,422	1,111	1,500	78	650	1,350
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー (B)	△ 531	△ 1,091	△ 394	△ 1,100	△ 9	△ 600	△ 1,200
フリーキャッシュ・フロー (A + B)	373	331	717	400	69	50	150
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 174	△ 64	△ 57	△ 430	△ 366	610	300
IV. その他	△ 17	△ 16	△ 10	-	16	-	-
現預金等増減	182	251	650	△ 30	△ 281	660	450

6) 連結経営データ

項 目		19年度決算 (日本基準)	20年度予想 (IFRS)
為 替 レ - ト	円/\$	109	106
国 産 標 準 ナ フ サ 価 格	円/KL	42,900	29,800
設 備 投 資 額	億円	763	1,010
研 究 開 発 費	億円	364	350
減 価 償 却 費	億円	521	800
金 融 収 益 ・ 費 用	億円	△ 7	△ 50
期 末 有 利 子 負 債 残 高	億円	5,542	5,800
N e t D / E レ シ オ	倍	0.76	0.73
期 末 従 業 員 数	人	17,979	18,200

3. 補助資料

- 1) 製品価格の状況
- 2) セグメントの増減概要（売上収益・コア営業利益）
- 3) セグメント別 売上収益・コア営業利益の内訳（四半期別）
- 4) 主要関係会社の状況
- 5) 財務データ
- 6) 地域別売上収益比率

1) 製品価格の状況

(P E国内、P P国内、P H国内、B P A国内：国内価格改定幅)

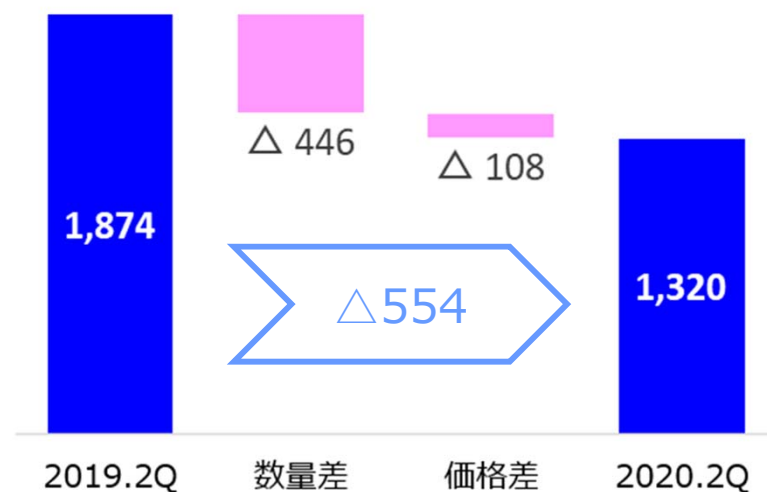
年		2017年		2018年				2019年				2020年		
月		7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月
国産標準 力価価格	(円/KL)	36,100	44,600	47,900	48,800	53,500	54,200	41,200	45,400	40,200	41,300	44,800	25,000	30,200
P E国内	(円/KG)	△5円 程度	+10円 程度	+10円 程度	→	+10円 程度	+10円 程度	△15円 程度	+10円 程度	→	△10円 程度	+10円 程度	△30円 程度	→
P P国内	(円/KG)	△5円 程度	+10円 程度	+10円 程度	→	+10円 程度	+10円 程度	△15円 程度	+10円 程度	→	△10円 程度	+10円 程度	△30円 程度	→
P H国内 (フォーマル価格)	(円/KG)	→	→	→	→	→	→	→	→	→	+10円	→	→	→
B Z (*ACP)	(\$/T)	\$770	\$830	\$920	\$850	\$860	\$770	\$580	\$620	\$660	\$680	\$700	\$360	\$440
B P A国内	(円/KG)	→	→	→	→	→	→	→	△15円 (4月~)	→	→	+5円 (1月~)	△15円 (6月~)	→
BZ・BPA市況をベースに都度交渉														
B P A 中国市況	(\$/T)	\$1,220	\$1,420	\$1,670	\$1,800	\$1,810	\$1,550	\$1,450	\$1,410	\$1,190	\$1,210	\$1,310	\$1,210	\$1,290
P T A 中国市況	(\$/T)	\$640	\$690	\$760	\$810	\$960	\$910	\$840	\$790	\$700	\$620	\$560	\$420	\$440
P X (*ACP)	(\$/T)	\$800	\$890	\$950	\$980	\$1,140	\$1,140	\$1,060	\$910	\$810	\$800	\$710	\$500	\$550
T D I 中国市況	(\$/T)	\$3,680	\$4,380	\$4,470	\$4,150	\$3,400	\$2,480	\$1,730	\$1,790	\$1,610	\$1,500	\$1,430	\$1,330	\$1,580

*ACP アジア圏契約価格

2-1) モビリティセグメントの増減概要 (売上収益・コア営業利益)

売上収益増減 (2020年度第2四半期決算 対 2019年度第2四半期決算)

(単位: 億円)



◆数量差 △446億円

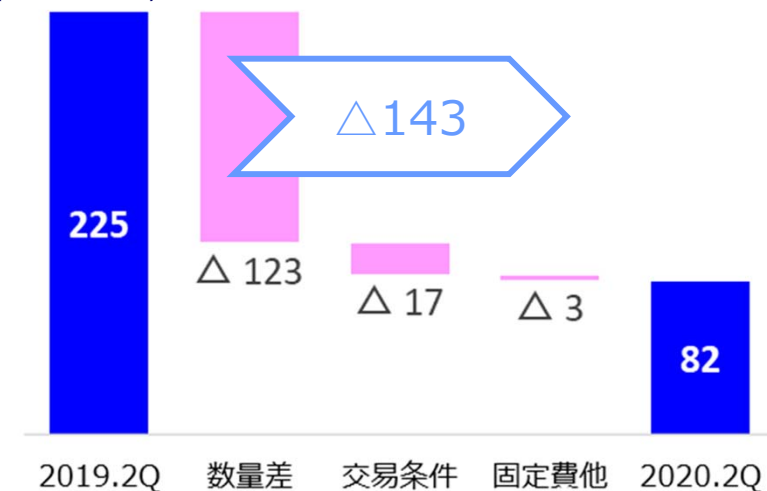
- ・エラストマー、機能性コンパウンド、海外PPコンパウンド、ソリューション事業は新型コロナウイルス感染症拡大の影響によるグローバル自動車生産減速の影響を受けた。
- ・ICT関連の需要に的確に対応。

◆価格差 △108億円

- ・原料価格下落による販売価格の改定等。

コア営業利益増減 (2020年度第2四半期決算 対 2019年度第2四半期決算)

(単位: 億円)



◆数量差 △123億円

- ・エラストマー、機能性コンパウンド、海外PPコンパウンド、ソリューション事業は新型コロナウイルス感染症拡大の影響によるグローバル自動車生産減速の影響を受けた。
- ・ICT関連の需要に的確に対応。

◆交易条件 △17億円

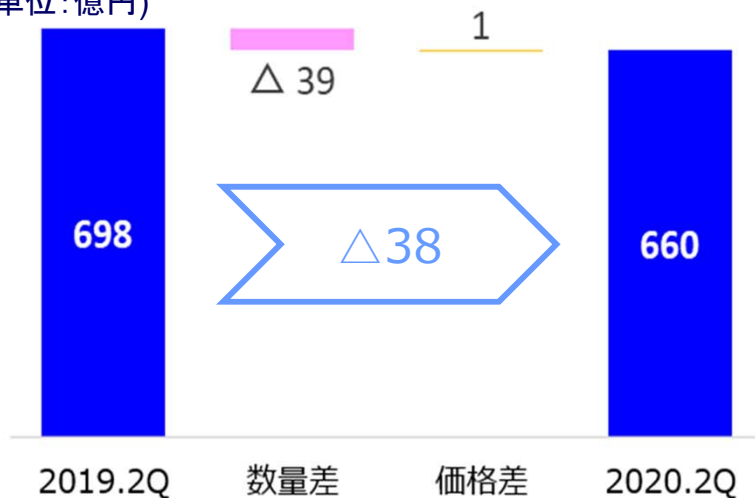
- ・海外PPコンパウンドの交易条件悪化等。

◆固定費他 △3億円

2-2) ヘルスケアセグメントの増減概要 (売上収益・コア営業利益)

売上収益増減 (2020年度第2四半期決算 対 2019年度第2四半期決算)

(単位: 億円)



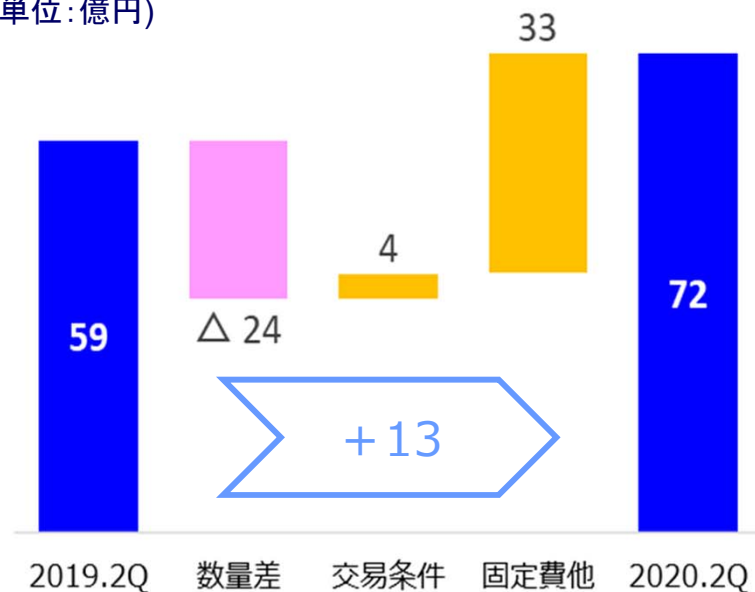
◆数量差 △39億円

- ・ビジョンケア材料、歯科材料は新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けた。
- ・不織布は、おむつ、マスク及び医療用ガウン向けの販売堅調。

◆価格差 +1億円

コア営業利益増減 (2020年度第2四半期決算 対 2019年度第2四半期決算)

(単位: 億円)



◆数量差 △24億円

- ・ビジョンケア材料、歯科材料は新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けた。
- ・不織布は、おむつ、マスク及び医療用ガウン向けの販売堅調。

◆交易条件 +4億円

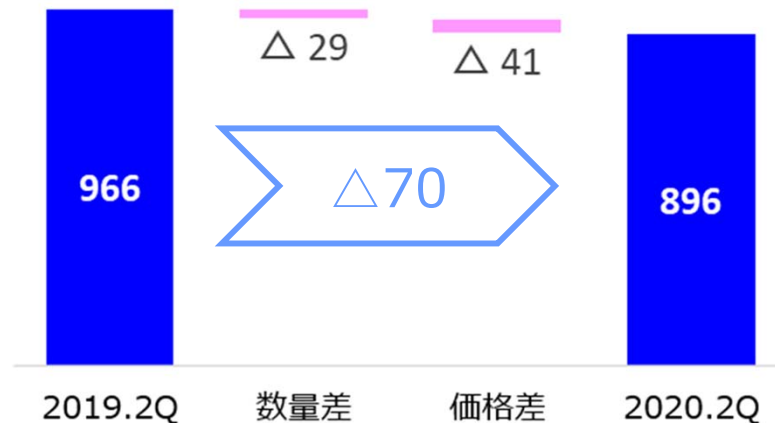
◆固定費他 +33億円

- ・コストダウン等。

2-3) フード&パッケージングセグメントの増減概要 (売上収益・コア営業利益)

売上収益増減 (2020年度第2四半期決算 対 2019年度第2四半期決算)

(単位:億円)



◆数量差 △29億円

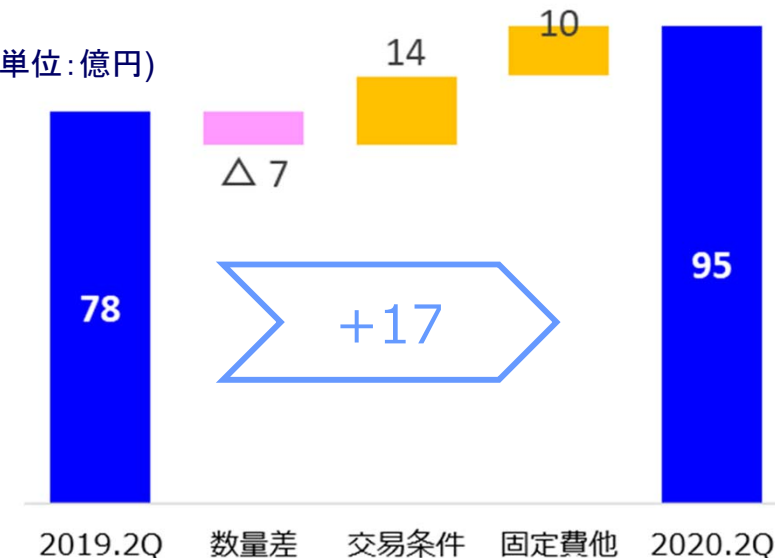
- ・産業用フィルム及び農薬の販売堅調。
- ・コーティング・機能材は新型コロナウイルス感染症拡大により販売減少。

◆価格差 △41億円

- ・原料価格下落による販売価格の改定等。

コア営業利益増減 (2020年度第2四半期決算 対 2019年度第2四半期決算)

(単位:億円)



◆数量差 △7億円

- ・産業用フィルム及び農薬の販売堅調。
- ・コーティング・機能材は新型コロナウイルス感染症拡大により販売減少。

◆取引条件 +14億円

- ・原料価格下落による取引条件改善等。

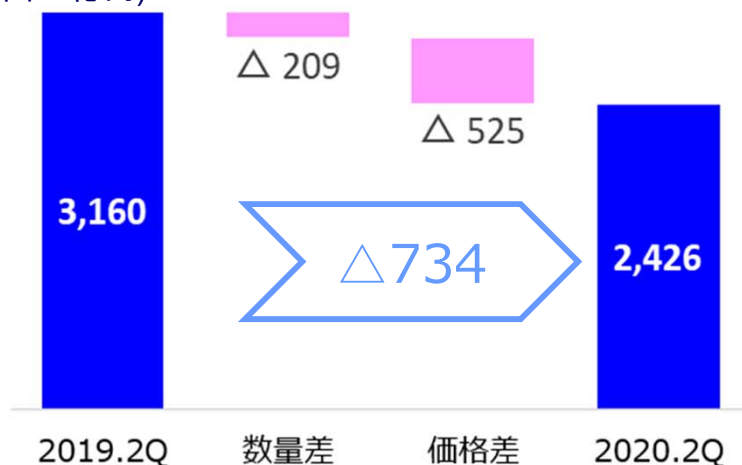
◆固定費他 +10億円

- ・コストダウン等。

2-4) 基盤素材セグメントの増減概要 (売上収益・コア営業利益)

売上収益増減 (2020年度第2四半期決算 対 2019年度第2四半期決算)

(単位: 億円)



◆数量差 △209億円

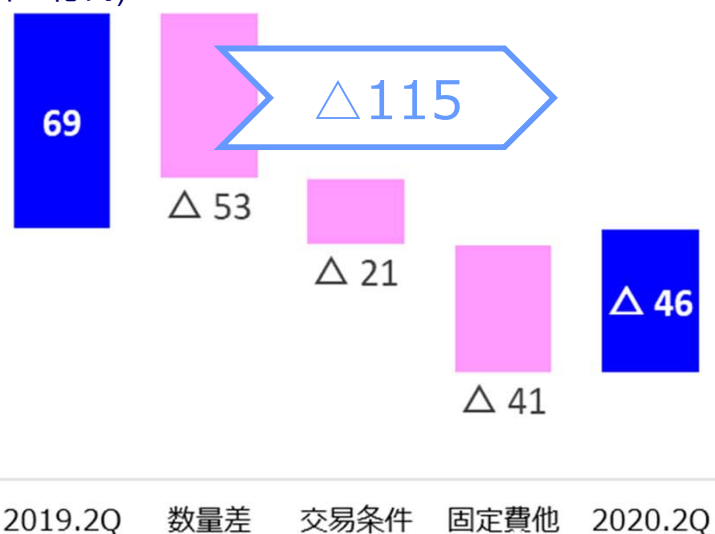
・オレフィン及びポリプロピレンの販売減少。

◆価格差 △525億円

・原料価格下落による販売価格の改定。
・海外市況下落等。

コア営業利益増減 (2020年度第2四半期決算 対 2019年度第2四半期決算)

(単位: 億円)



◆数量差 △53億円

・オレフィン及びポリプロピレンの販売減少。

◆交易条件 △21億円

・在庫評価損。
・アセトン市況改善等。

◆固定費他 △41億円

・持分法投資損益悪化等。

3) セグメント別 売上収益・コア営業利益の内訳 (四半期別)

(単位：億円)

セグメント	売上高 (日本基準)				売上収益 (IFRS)			
	19年度				19年度		20年度	
	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	4-6月	7-9月
モビリティ	941	934	902	899	944	930	583	737
ヘルスケア	352	345	370	363	352	346	289	371
フード&パッケージング	456	474	464	544	473	493	454	442
基盤素材	1,635	1,523	1,464	1,547	1,637	1,523	1,186	1,240
その他	44	45	42	46	44	45	33	35
合計	3,428	3,321	3,242	3,399	3,450	3,337	2,545	2,825

(単位：億円)

セグメント	営業利益 (日本基準)				コア営業利益 (IFRS)			
	19年度				19年度		20年度	
	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	4-6月	7-9月
モビリティ	101	97	96	98	117	108	23	59
ヘルスケア	38	22	38	40	37	22	14	58
フード&パッケージング	33	46	39	63	31	47	44	51
基盤素材	61	△12	37	1	76	△7	△63	17
その他	△26	△15	△25	△16	△16	△18	△12	△5
合計	207	138	185	186	245	152	6	180

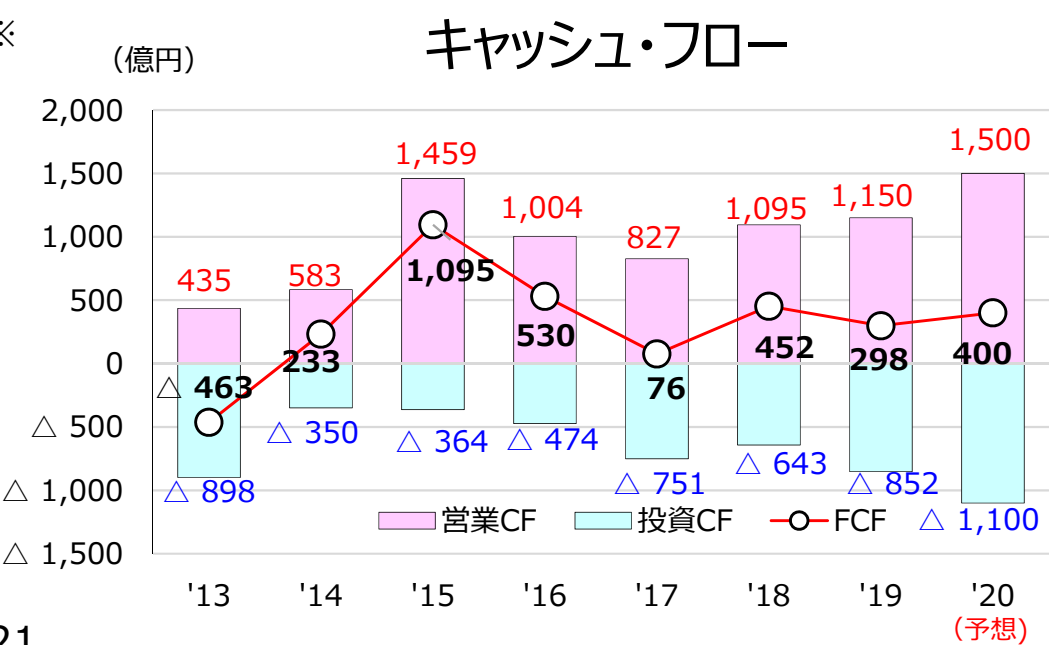
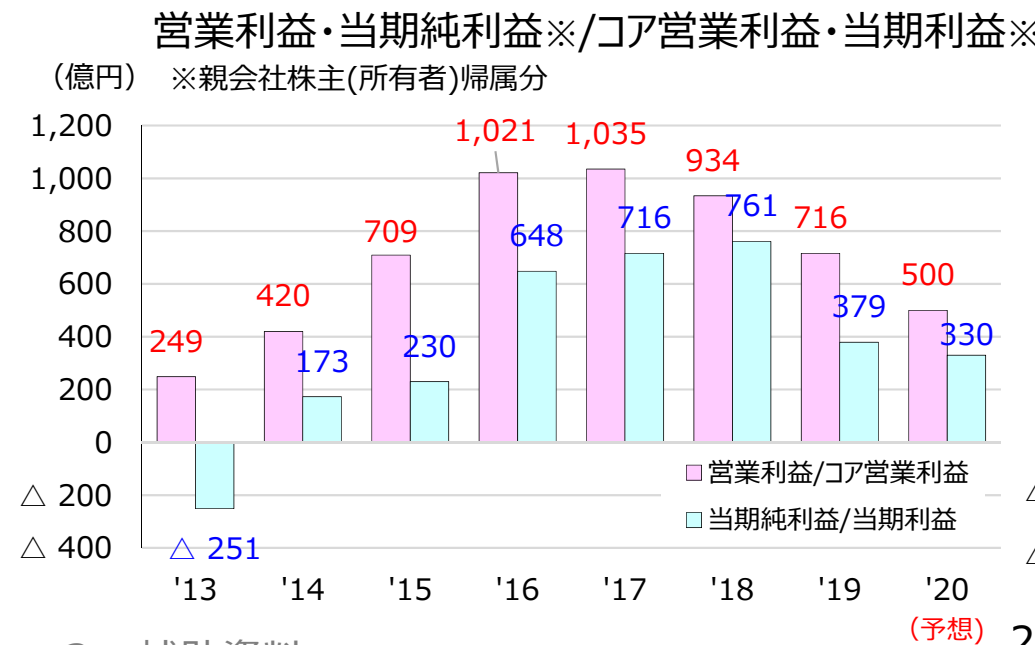
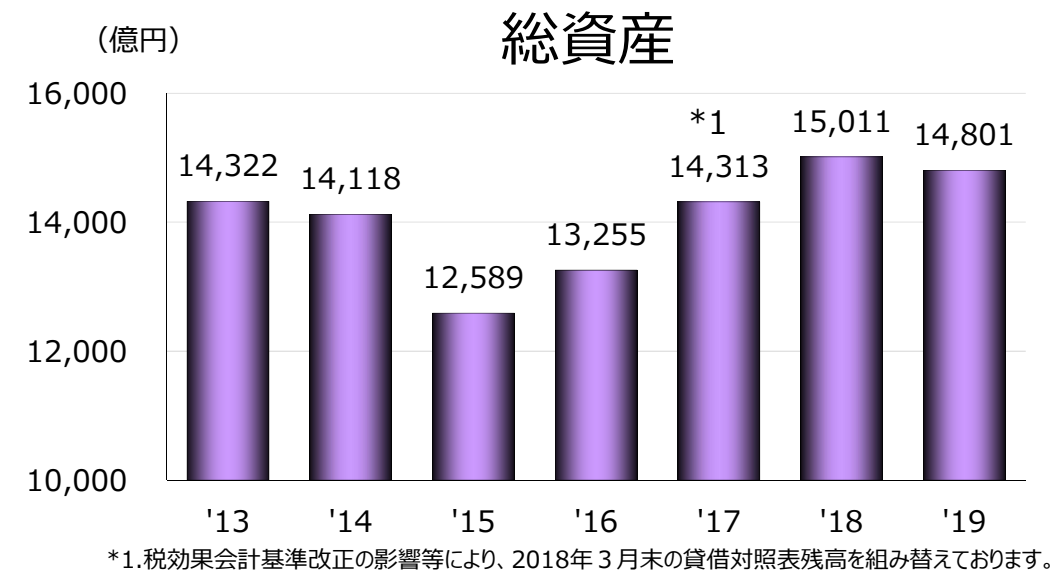
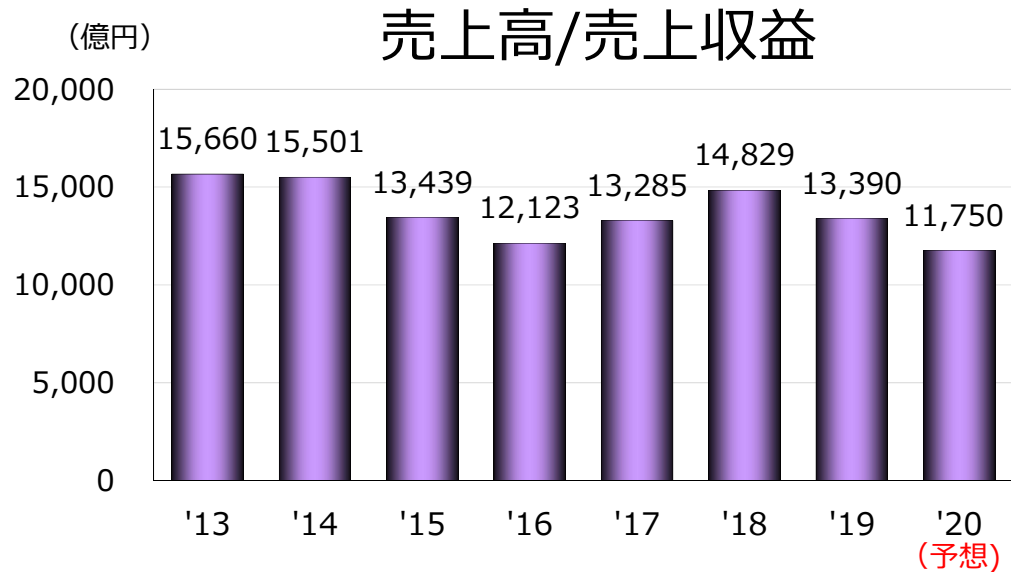
4) 主要関係会社の状況

項 目	当社シェア	売上規模		利益規模	
		19年度	19年度	19年度	20年度予想 ※
連結子会社	%	億円			
プライムポリマー	65.0	2,300	黒字	→	在庫影響等(-)
アドバンスド・コンポジット	61.8	800	黒字	→	数量(-)
三井フェノールズ`シンガポール	95.0	400	赤字	→	交易条件(+)
三井エラストマーズ`シンガポール	100.0	400	黒字	→	
三井化学東セロ	100.0	800	黒字	→	
三井化学アグロ	100.0	400	黒字	→	数量(+)
持分法適用会社					
三井・ダウ`リミテッド	50.0	300	黒字	→	数量(-)
三井・ケムズ`フロンティア`ダウ	50.0	300	黒字	→	数量(-)
上海中石化三井化工	50.0	400	黒字	→	交易条件(+)

※ 利益規模：→は、対19年度5億円未満の増減。

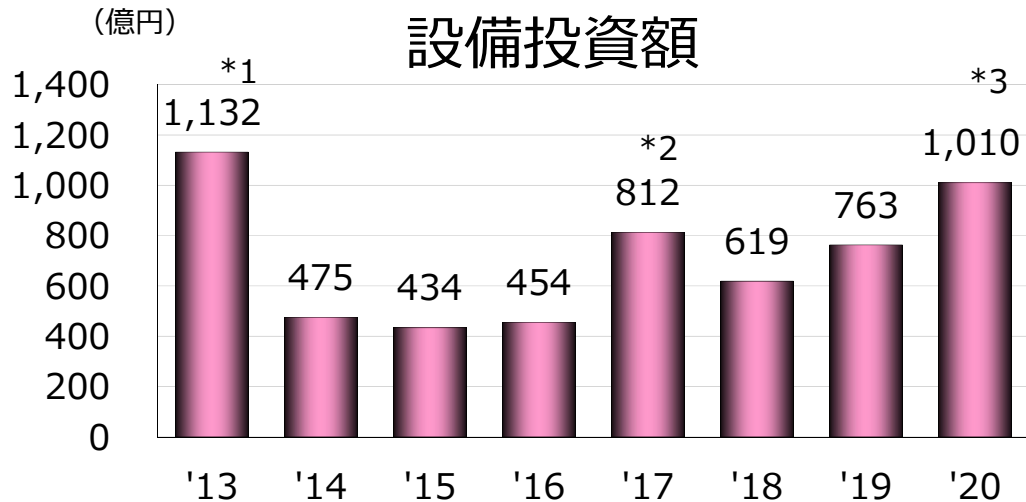
5-1) 財務データ

注) ~19年度：日本基準 / 20年度：IFRS



5-2) 財務データ

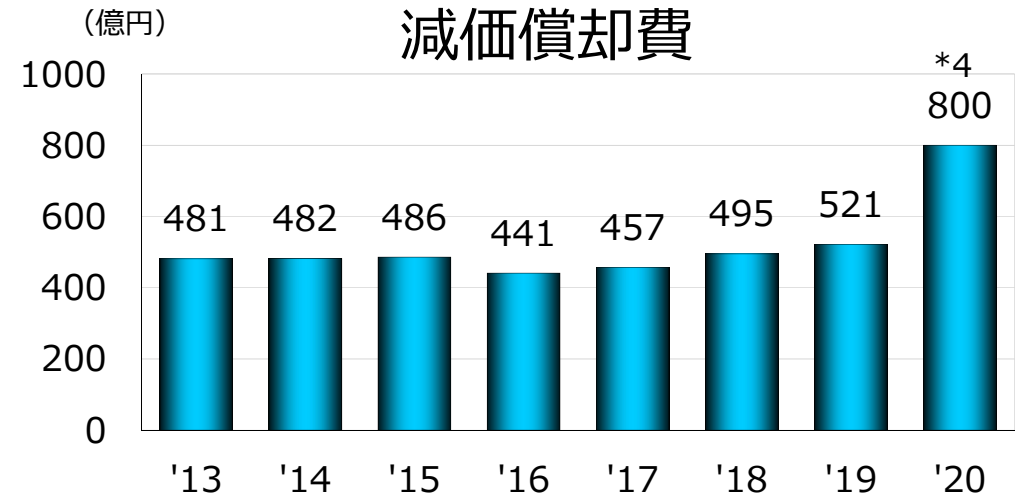
注) ~19年度：日本基準 / 20年度：IFRS



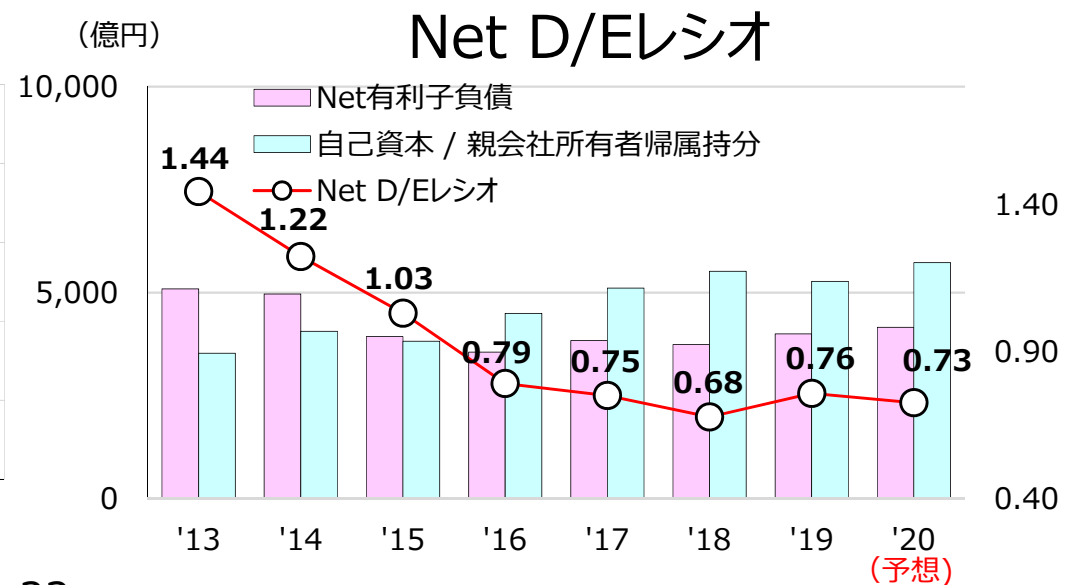
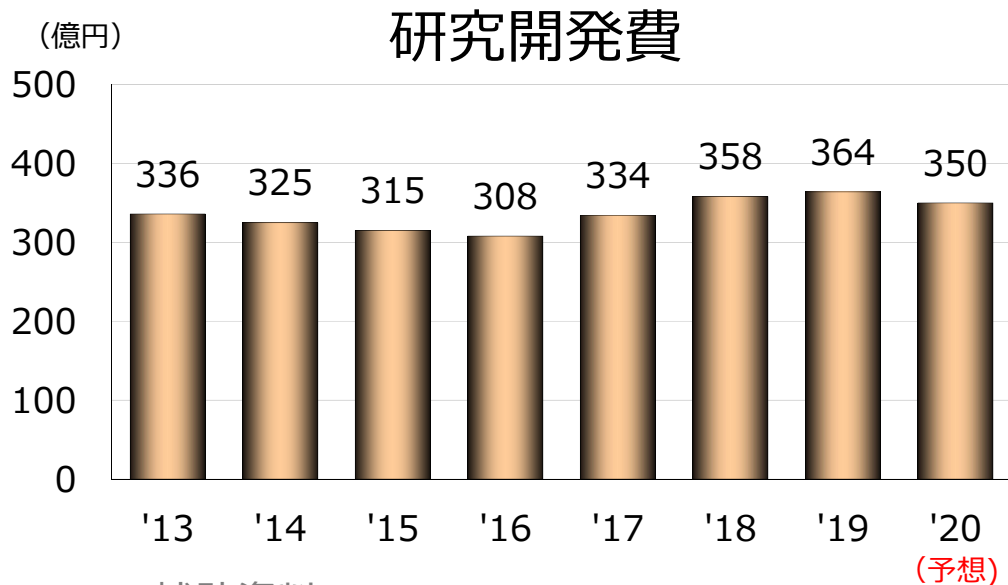
*1. ヘルス社歯科材料事業買収影響 (560億円) を含む (予想)

*2. アーク社株式取得影響(239億円)を含む

*3. IFRS適用に伴う、定期修繕に係る費用等の取り扱い変更影響(設備投資額増加)を含む



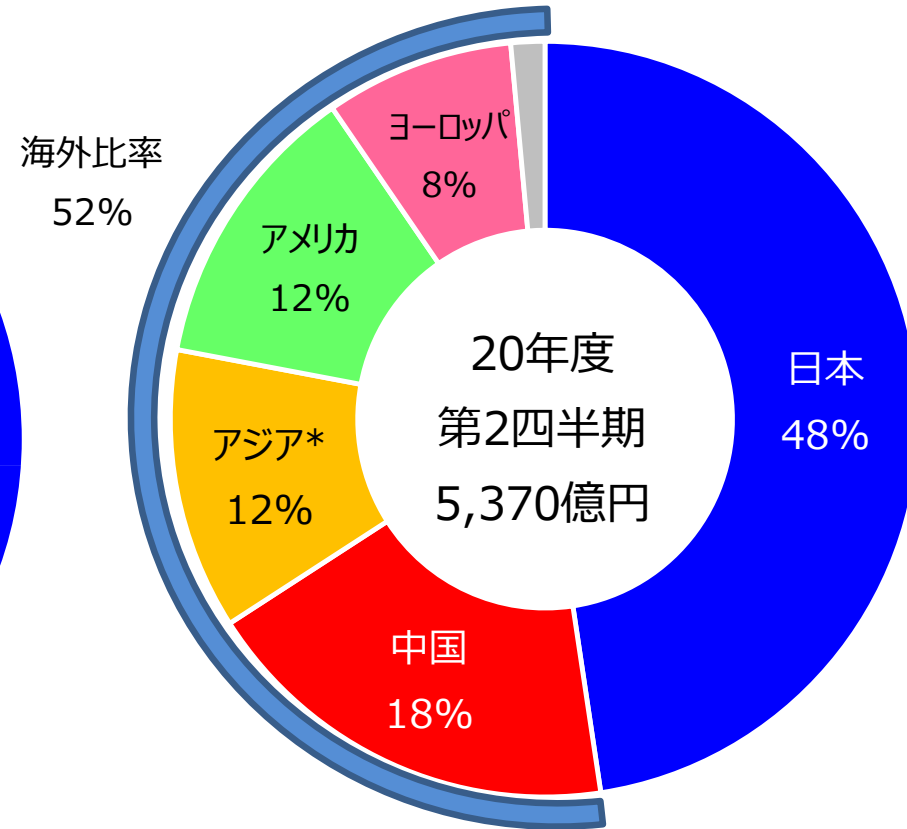
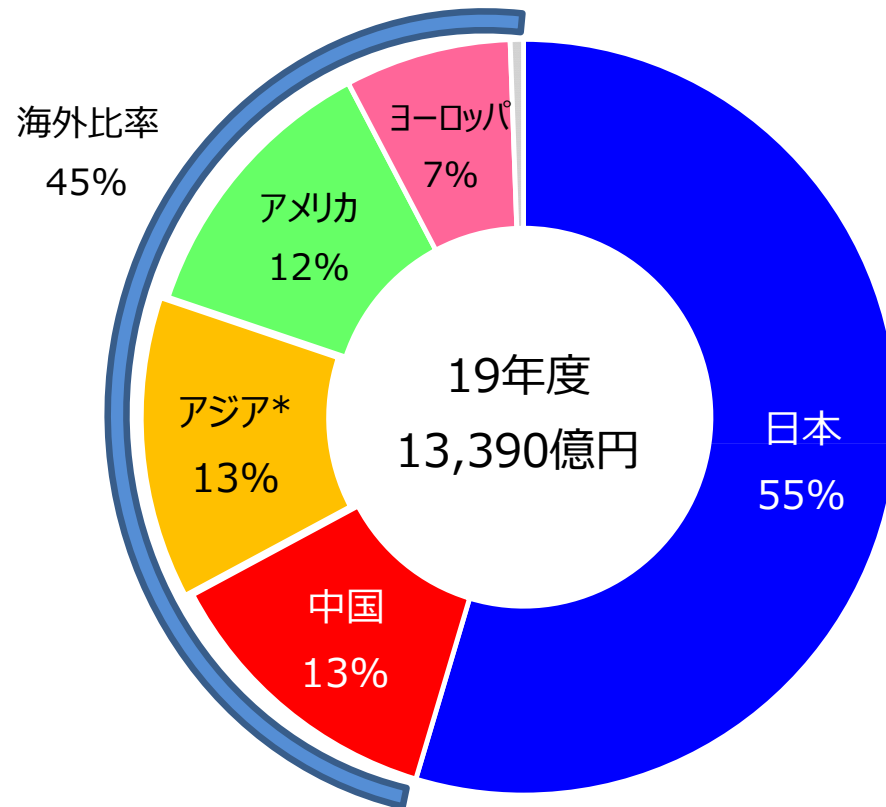
*4. IFRS適用に伴う、定期修繕に係る費用等の取り扱い変更影響(減価償却費増加)を含む (予想)



6) 地域別売上収益比率

日本基準

IFRS



* アジア：日本及び中国を除く



Mitsui Chemicals

新たな顧客価値を創造し、事業活動を通じて、
社会課題を解決する